

2023年度

事 業 年 報

総合健診推進センター

事業年報発行にあたって

ご挨拶 *greeting*

平素より当センターの健診・検診事業や、外来診療、特に結核診療にあたりましては、格別のご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。この度、2023年度の事業実績を纏めましたのでご報告致します。

当センターでは下記の行動指針に従い日々健診・検診、診療業務の向上、研鑽に努めております。

- *科学的に信頼できる正確なデータを提供します
- *心のこもった質の高いサービスで接します
- *健康維持、増進に役立つ情報を提供します
- *お一人お一人の健診結果に合わせた丁寧な指導を行います
- *医療知識、健診・検診技術を高めるため努力を重ねます
- *個人情報を守りコンプライアンス遵守を徹底します

当センターは健診・検診、外来診療、及び読影を主な業務としております。健診部門は出張健診、施設健診、及びネットワーク健診を実施しており、2023年度の健診数は、出張健診・検診 98,034件、施設健診・検診 34,683件、ネットワーク健診 81,661件でした。2019年に始まった新型コロナウイルス感染症のパンデミックも大きな山を越えたようで、以前の健診・検診、診療業務が実施できるまでに回復してまいりました。一方、読影業務は胸部及び胃透視、マンモグラフィ等の読影を 458,728件実施しており、新型コロナウイルス感染症蔓延の影響で遠隔診断が増えてきた為、年々増加しております。ようやく新型コロナウイルス感染症が下火になったとはいえ、まだまだ気を緩めず、所内での感染防止に努め、安心、安全で信頼される健診・検診、診療を続けてまいりたいと存じます。

また、外来診療は結核診療を主とする呼吸器外来や、消化器、循環器、糖尿病などの生活習慣病外来、公害健診等を行っており、延べ 10,448名が受診しました。特に呼吸器外来は都内で唯一の結核専門外来となっており、保健所と連携し結核、特に多剤耐性結核の治療にあたっています。日本の結核罹患率は2021年に人口10万人に対し9.2人と10人を下回り低蔓延国の仲間入りをし、2023年は8.2人とさらに低下しました。しかし、新型コロナウイルス感染症が落ち着くにつれ、東南アジア、東アジアの方々の入国が増加するとともに外国人患者の受診が増加してきました。今後も結核患者の診療に努めてまいり所存です。

当センターの母体である結核予防会は、当時の皇后陛下のご下賜金を基に全国からの寄付を募り、1939年（昭和14年）に設立され、それとともに第一生命のご寄付を頂き当センターの前身である第一健康相談所が設立され、結核診療、結核検診を開始いたしました。1975年（昭和50年）に第一健康相談所付属総合健診センターと名称を変更し、さらに2015年（平成27年）現在の総合健診推進センターと改称し、結核検診に加え生活習慣病健診を開始し、さらに人間ドックを増設いたしました。

当センターは結核検診、診療からスタートし、COPDなど呼吸器疾患や、生活習慣病健診に活動領域を広げ、日本の結核検診、および生活習慣病健診の進歩と共に歩んでまいりました。今後もさらに受診者の方々の健康維持・増進に貢献できるような一層の努力を行ってまいりたいと存じます。皆様方のご支援、ご指導を賜りますよう今後とも宜しくお願い致します。

2024年11月

公益財団法人結核予防会 総合健診推進センター
所長 宮崎 滋

公益財団法人結核予防会 総合健診推進センター



事業理念 philosophy

安全、安心な健診で、
健康をお届けします

集団検診発祥の地、第一健康相談所の伝統を受け継いで、
最高の診療と健診、保健指導を提供します
たゆまず改善と研究に取り組み、国民の健康増進に貢献します

基本方針 Basic policy

1. 精度の高いサービスを提供します
2. 心温かく接します
3. お待たせしないよう努力します
4. わかりやすい結果説明をします
5. 保健指導を行い生活習慣の改善を支援します
6. プライバシーを守ります

個人情報保護方針

当センターは、個人の権利・利益を保護するために、お客さまの個人情報を適切に管理することを社会的責務と考えます。そのために、以下の個人情報保護方針を定め、確実な履行に努めます。

1. 当センターは、総合健診推進センターの管理運営上、大量の顧客個人情報を扱うため、個人情報の収集、利用、提供、預託を適正に行い、特に個人情報の廃棄に関しては万全を期します。
2. 常に最新状態に維持された個人情報に関する法令およびその他の規範を遵守するとともに、個人情報保護計画を策定・実施・維持し、継続的な改善に努めます。
3. 総合健診推進センターの管理運営に必要な医療・健診にかかわる範囲においてのみ、お客さまの個人情報を収集、提供いたします。また、その利用目的に関しては事前に明示いたします。
4. 故意又は過失により、個人情報が漏洩し、改竄され、消去され、紛失し若しくは窃取され、又は不正に利用されることがないように、十分なセキュリティ対策を講じ、安全な管理に努めます。万一の問題発生時には速やかな是正対策を実施します。
5. お客さまご本人が個人情報の照会（内容の確認・訂正あるいは利用停止等）をご希望される場合は「お客さま相談窓口」にご連絡いただければ、調査のうえ適切に対応させていただきます。なお、診療情報の提供・開示に関しては、別に定める内部規則により対応いたします。
6. 当センターでは、一部の検査等を外部の検査会社等に委託する場合がありますが、信頼のおける委託先を選択すると同時に、委託先との間で、個人情報保護に関する契約を締結し、定期的に監査を実施します。
7. 職員に対し、個人情報保護に関する教育や監査を定期的かつ徹底して行い、適切な知識及び運用を維持します。
8. 個人情報はお客さまご本人以外には原則公開いたしません。但し、会社や健康保険組合等から要請があれば、お客さまご本人との同意が得られている範囲内において検査結果をお知らせいたします。
9. 上記の基本方針に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【お客様相談窓口】

担当：総務課長

TEL:03-3292-9215

FAX:03-3292-9335

令和3年6月1日

公益財団法人結核予防会 総合健診推進センター

所長 宮崎 滋

目次

事業年報発行にあたって

I. 事業概要

センター全体の事業概要	2
-------------------	---

II. 健康管理事業実績

1. 総実施状況	4
2. 事業別実施状況	5
1) . 巡回健診事業	5
2) . 施設健診事業	6
3) . ネットワーク健診事業	7
4) . 広域支援事業	7
5) . 読影事業	7
6) . 外来診療事業	8
7) . 健康支援事業	8
3. 一般健康診断	9
4. 特定健康診査	13
5. 人間ドック	15
6. その他の一次健（検）診	16
7. 二次健診	18
8. 学校健診	19

Ⅲ. センター概要

1. 組織概要	21
2. 沿革	22
3. 組織図	24
4. 職員構成	25
5. 学会・所外活動等	28
6. 機器整備状況	32

I. 事業概要

1. 事業概要

■センター全体の事業概要

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより、従来の社会活動に戻りつつあり、当センターでは感染防止対策の徹底を継続しながら「受診者が安心して受診できる安全な健診・保健指導」、「職員にとって安全に業務を遂行できる健診・保健指導体制」を構築し、健診事業開設以来培ってきた「最高でかつ信頼される健診、保健指導を提供する」という理念を念頭に置いて、事業の推進・収益増大を図った。

経営健全化に向けた取り組みとしては、課題を具現化するために令和4年度より「収支改善推進部会」を立ち上げ、所長を部会長として不採算案件の整理、新規顧客の獲得、業務の効率化、予約体制の強化、読影事業拡大と読影医の確保、広報・営業体制の拡大及び医師の勤務体制の見直し等多方面から検討し、実行したことで令和4年度は赤字を脱却して平成28年度以来の黒字決算を達成し、令和5年度も改革の流れを減速させずに事業を展開したことにより、黒字体質の事業運営が実施できている。

主な概要として、ネットワーク健診部門においては、全国におけるネットワーク健診受診者が、令和5年度81,661件で令和4年度より11,127件増加した。

出張健診部門においては非効率な現場配置の見直し及び日程の平準化を更に進めた。また、入札等による不採算案件を取りやめ、新規顧客の獲得にも努めた。

施設健診部門においては、新型コロナウイルス感染症の鎮静化に伴い、令和5年度より1日の受診者数制限を解除したことで、令和4年度と比して人間ドック部門・定期健診部門ともに増加に転じている。一方で、コールセンターの体制強化を図り、WEB予約受付を拡充し、顧客事業所数を確保した。また、施設健診フロアの一部改修を実施して顧客満足度を高めた。

福島県県民健康調査及び環境省受託事業については、時が経るにつれて徐々に受診者は減少しているものの、現在も大いに寄与している。

読影事業においては新規顧客の獲得に努め、件数及び収入増となっている。今後も拡大が期待できる事業の1つである。

新型コロナウイルス感染症関連では、千代田区役所との協力関係を堅持して区民向け新型コロナワクチン接種委託事業を継続した。しかし、国の方針により令和5年度で新型コロナワクチン接種事業は終了となった。

他の部門においても、それぞれが問題意識を持ちながら部課（科）を越えてチームとして事業を遂行し、健全事業運営と経営改善に向けて職員一丸となって事業に取り組んできた結果、2期連続で黒字決算を達成することができた。

II. 健康管理事業実績

1. 総実施状況

事業内容	実施件数
巡回健診	98,034
施設健診	34,683
ネットワーク健診	81,661
広域支援	8,024
読影	458,728
外来診療	10,448
健康支援	775

2. 事業別実施状況

1) 巡回健診事業

内容		実施件数
事業所健診	定期健診	36,644
	人間ドック	73
	雇い入れ時健診	1,159
	特殊健診（単独）	1,538
	がん検診、単項目検診	1,492
学校健診	総合健診	10,174
	心臓検診	8,739
	腎臓検診	2,122
	結核検診	7,047
	結核問診票	6,503
結核検診（学校健診の結核検診を除く）		14,365
公害健診		692
予防接種		7,195
その他		56
二次健診事業	二次健診	235
	労災二次健診	0
	経過観察	0
計		98,034

2) 施設健診事業

内容		実施件数
事業所健診	定期健診	26,962
	人間ドック	3,062
	雇い入れ時健診	1,001
	特殊健診（単独）	419
	がん検診、単項目検診	213
	その他	186
学校健診	総合健診	487
結核検診		370
市町村住民検診		55
特定健診		34
個人申込健診		204
予防接種		1,028
二次健診事業	二次健診	589
	労災二次健診	30
	経過観察	43
計		34,683

3) ネットワーク健診事業

本部・支部および提携医療機関の共同ネットワーク体制による全国規模の様々な事業所や健康保険組合の健康診断等の実施状況。ネットワーク健診の一部に広域支援事業を含む。

内容	実施件数
ストレスチェック	100,669
ネットワーク健診	81,661

4) 広域支援事業

東京電力(株)福島第一原子力発電所事故を由来とする福島県「県民健康調査」における「県外避難者に対する健康診査」及び「既存健診対象外の県民に対する健康診査」の実施状況。

並びに「水俣病被害者の救済及び水俣病問題の解決に関する特別措置法」に関して熊本県・鹿児島県・新潟県との契約に基づき行う健康診断の実施状況。

内容	実施件数
福島県県民健康調査「県外避難者に対する健康診査」	1,861
福島県県民健康調査「既存健診対象外の県民に対する健康診査」	5,846
熊本県・鹿児島県・新潟県「健康不安者フォローアップ健診事業」 及び「健康不安者に対する健診事業」	317

5) 読影事業

当センターの呼吸器専門医による結核・肺がん・じん肺検診などの読影事業の実施状況。

内容	実施件数
胸部X線単純撮影など画像検査	458,728

6) 外来診療事業

当センターの専門外来、また個人における健康診断等の実施状況。

内容	実施件数
一般外来	7,089
結核治療	1,288
公害健診	1,898
健康診断	173
計	10,448
うち、外国人受診者数	579

7) 健康支援事業

特定保健指導に加え、ドック受診者や二次健診受診者に対する保健指導、外来診療における生活習慣病プログラムの実施状況。

内容	実施件数	
生活習慣病外来における保健指導および栄養相談の実施人数	62	
特定保健指導	積極的支援	446
	動機付け支援	267
	合計実施数	713

3. 一般健康診断

総合判定の分布 | 性別・年齢階級別

当センターで健診を受けられた方のうち、一般健康診断や生活習慣病健診、協会けんぽ健診のコースの方について、性別、年齢ごとに総合判定の結果を集計した。なお、コースの内容は、各事業所により様々である。

表 1 性別・年齢階級別総合判定分布

(単位：件)

男 性							
年齢	判 定						計
	所見なし	有所見健康	経過観察	要精密検査	治療中管理中	要専門医受診	
～29 歳	1,054	2,499	3,224	1,548	170	137	8,632
30 歳～39 歳	731	1,974	3,608	1,958	462	269	9,002
40 歳～49 歳	354	1,067	3,085	1,927	1,239	396	8,068
50 歳～59 歳	216	733	2,998	1,767	2,920	744	9,378
60 歳～	89	234	1,234	805	2,599	575	5,536
合計	2,444	6,507	14,149	8,005	7,390	2,121	40,616

(単位：件)

女 性							
年齢	判 定						計
	所見なし	有所見健康	経過観察	要精密検査	治療中管理中	要専門医受診	
～29 歳	815	1,500	2,106	775	168	109	5,473
30 歳～39 歳	508	1,023	1,754	792	219	143	4,439
40 歳～49 歳	297	731	1,540	935	501	205	4,209
50 歳～59 歳	194	649	1,983	933	1,075	210	5,044
60 歳～	77	280	1,265	648	1,406	149	3,825
合計	1,891	4,183	8,648	4,083	3,369	816	22,990

総合判定の分布グラフ | 性別・年齢階級別

前ページの総合判定の結果の表をグラフで示した。一般健診の総合判定の結果は、男女とも年代が上がるとともに「所見なし」「有所見健康」が減少し、「経過観察」「要精密検査」「治療中」「要専門医受診」が増加していた。

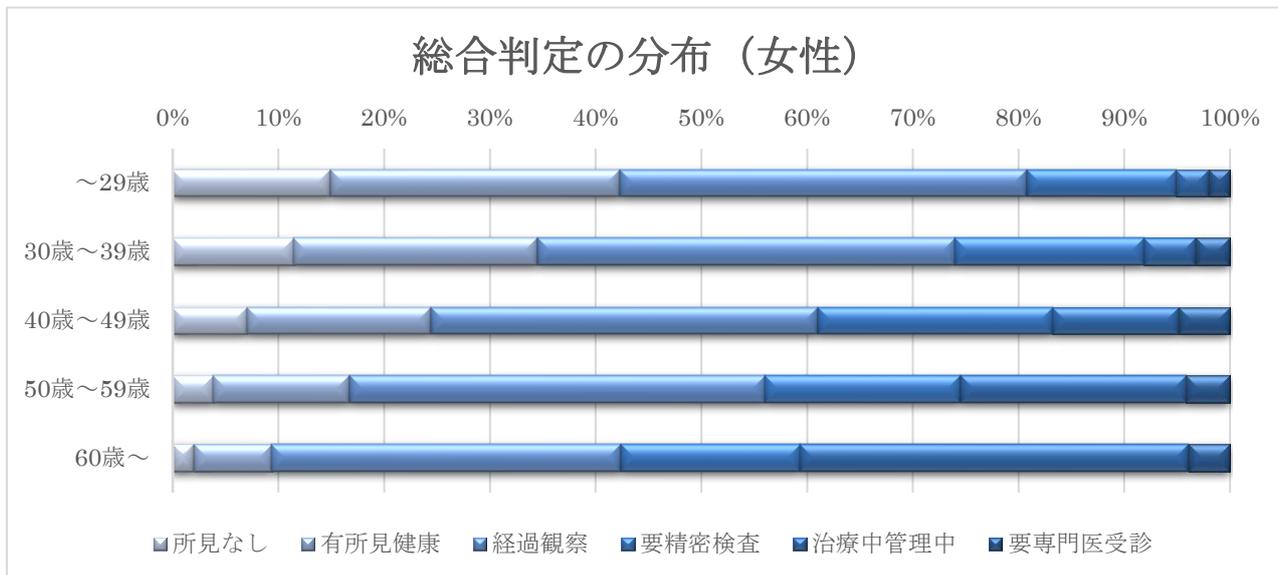
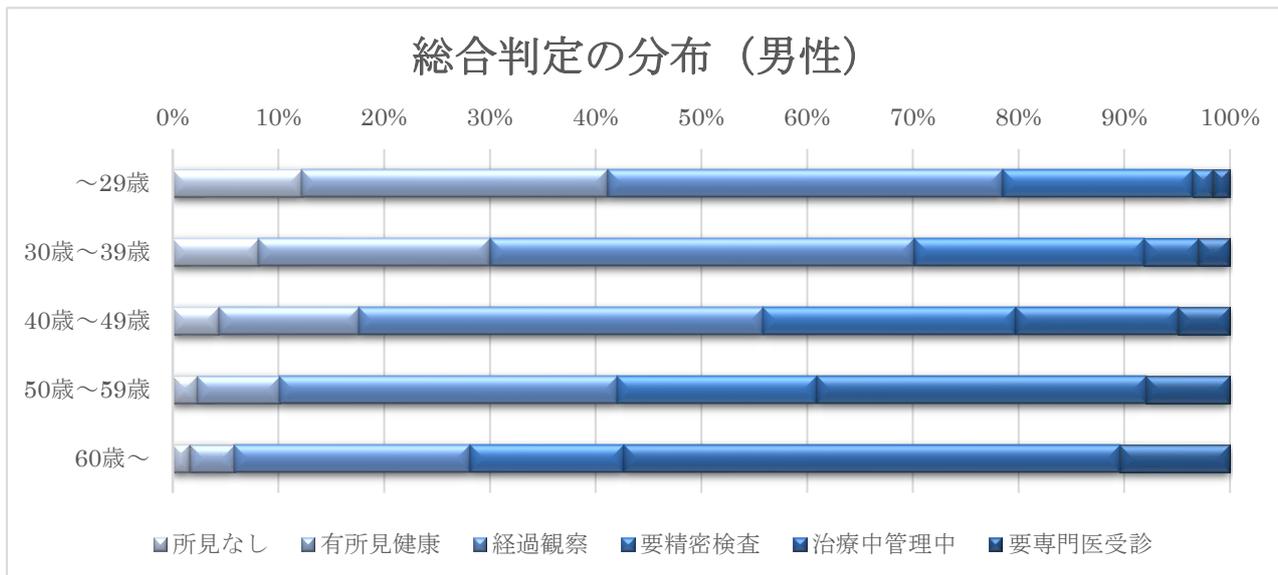


図1 性別・年齢階級別総合判定分布

検査項目別判定の分布 | 性別・全年齢

性別毎に、各種検査の判定結果の分布を集計した。

表 2 性別・検査項目別判定結果分布

(単位：件)

男 性						
検査項目	判 定					
	所見なし	有所見健康	経過観察	要精密検査	治療中管理中	要専門医受診
聴力*	35,290	2,756	/	/	/	/
血圧	23,509	5,641	4,409	1,111	5,247	299
貧血	32,272	3,326	1,153	388	100	39
肝臓	23,600	5,553	2,920	5,037	285	138
脂質	14,750	9,188	8,698	2,675	1,908	71
糖代謝	19,271	13,045	5,187	586	2,029	194
尿酸**	21,837	4,201	1,636	564	1,412	/
尿**	36,725	2,404	666	322	108	/
胸部X線	32,344	3,305	257	344	64	0~5
心電図	28,496	2,621	2,252	315	242	161

(単位：件)

女 性						
検査項目	判 定					
	所見なし	有所見健康	経過観察	要精密検査	治療中管理中	要専門医受診
聴力*	18,398	911	/	/	/	/
血圧	17,067	1,526	1,367	363	1,807	88
貧血	16,431	1,408	2,332	948	530	43
肝臓	19,394	1,226	573	650	121	11
脂質	10,893	4,617	3,713	1,318	1,020	25
糖代謝	11,986	7,290	2,371	178	466	50
尿酸**	15,030	230	107	18	29	/
尿**	20,231	1,254	235	171	26	/
胸部X線	19,404	1,673	149	216	22	0~5
心電図	17,206	1,282	685	184	41	36

注) 該当する人数が5人以下と著しく少ない場合は、個人特定を防ぐため0~5と表記した。

* 聴力の判定は「所見なし」、あるいは「有所見健康」のみで、「経過観察」「要精密検査」「治療中管理中」「要専門医受診」が存在しない。

** 尿酸、尿検査の判定は「要専門医受診」が存在しない。

検査項目別判定の分布グラフ | 性別・全年齢

一般健康診断の項目別判定の分布をグラフで示した。

男性では脂質、糖代謝、肝臓、血圧、尿酸で「所見なし」が少なく、「有所見健康」「経過観察」「要精密検査」が多く見られた。女性では、脂質、糖代謝、貧血で「有所見健康」「経過観察」「要精密検査」が多く見られた。

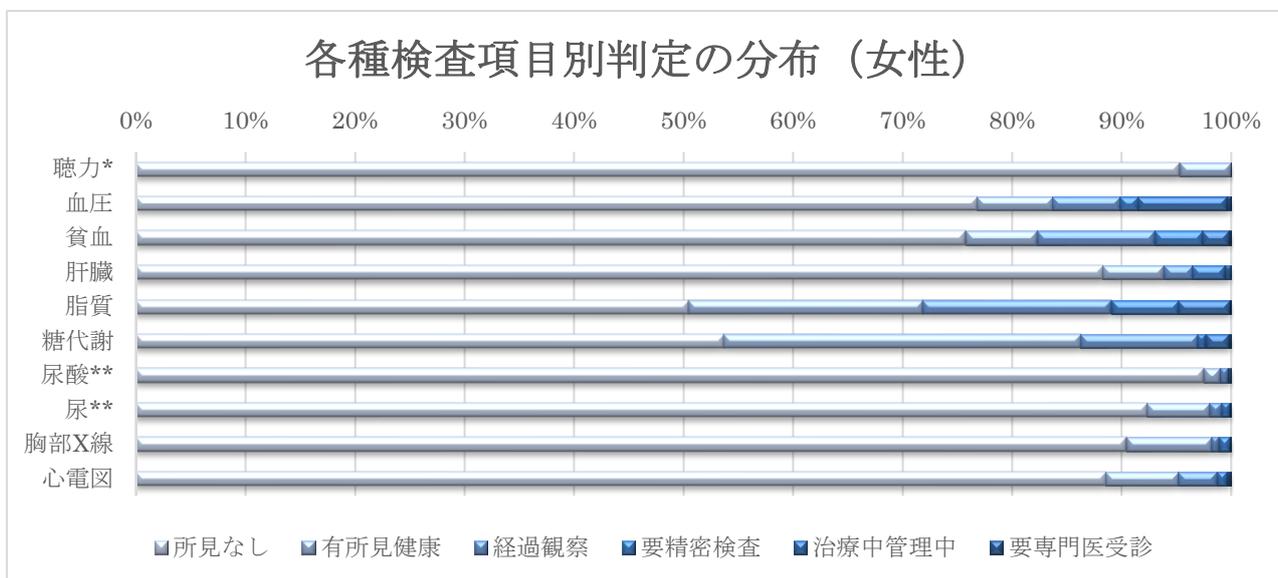
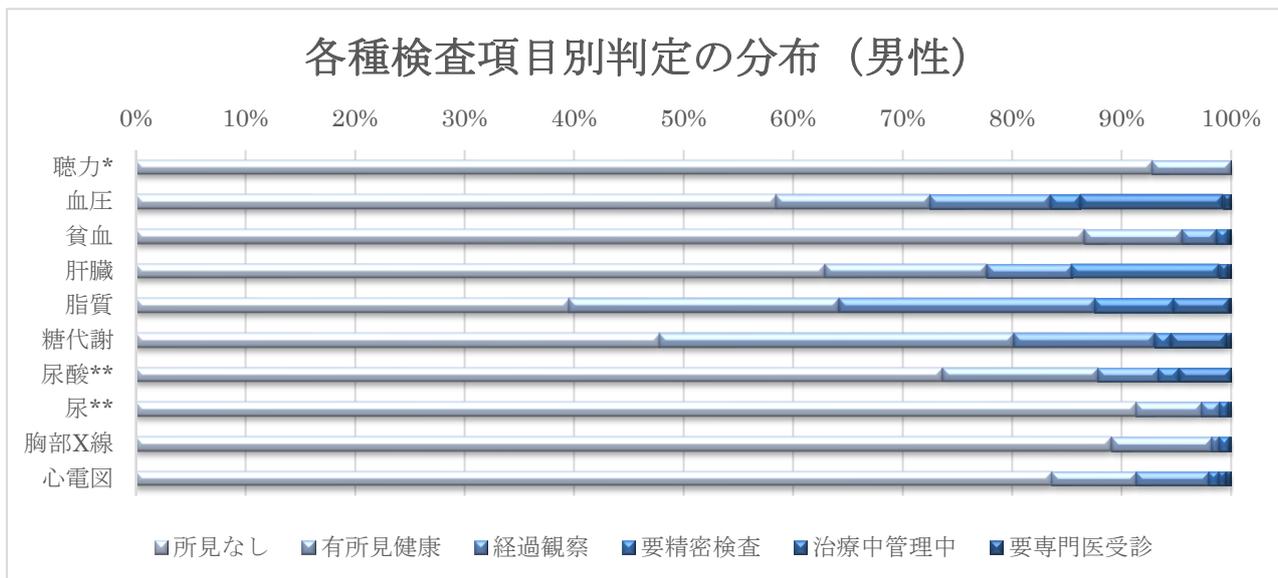


図 2 性別・検査項目別判定結果分布

* 聴力の判定は「所見なし」、あるいは「有所見健康」のみで、「経過観察」「要精密検査」「治療中管理中」「要専門医受診」が存在しない。

** 尿酸、尿検査の判定は「要専門医受診」が存在しない。

4. 特定健康診査

特定健康診査の階層化 | 性別・年齢階級別

当センターでは人間ドックや一般健康診断の結果より特定健康診査の判定を行っている。

表3 性別・特定健康診査階層化の分布

(単位：件)

男 性					
年齢	判 定				計
	積極的支援	動機付け支援	非該当	判定不能	
～29歳	616	564	6,267	4,448	11,895
30歳～39歳	1,175	765	5,055	2,803	9,798
40歳～49歳	1,672	706	5,602	1,627	9,607
50歳～59歳	1,660	721	6,837	1,641	10,859
60歳～	421	575	4,156	1,060	6,212
合計	5,544	3,331	27,917	11,579	48,371

(単位：件)

女 性					
年齢	判 定				計
	積極的支援	動機付け支援	非該当	判定不能	
～29歳	37	114	4,220	4,091	8,462
30歳～39歳	79	220	3,436	972	4,707
40歳～49歳	148	271	3,559	735	4,713
50歳～59歳	244	299	4,191	649	5,383
60歳～	61	206	3,146	994	4,407
合計	569	1,110	18,552	7,441	27,672

特定健康診査の階層化グラフ | 性別・年齢階級別

特定健康診査の階層化の結果をグラフで示した。

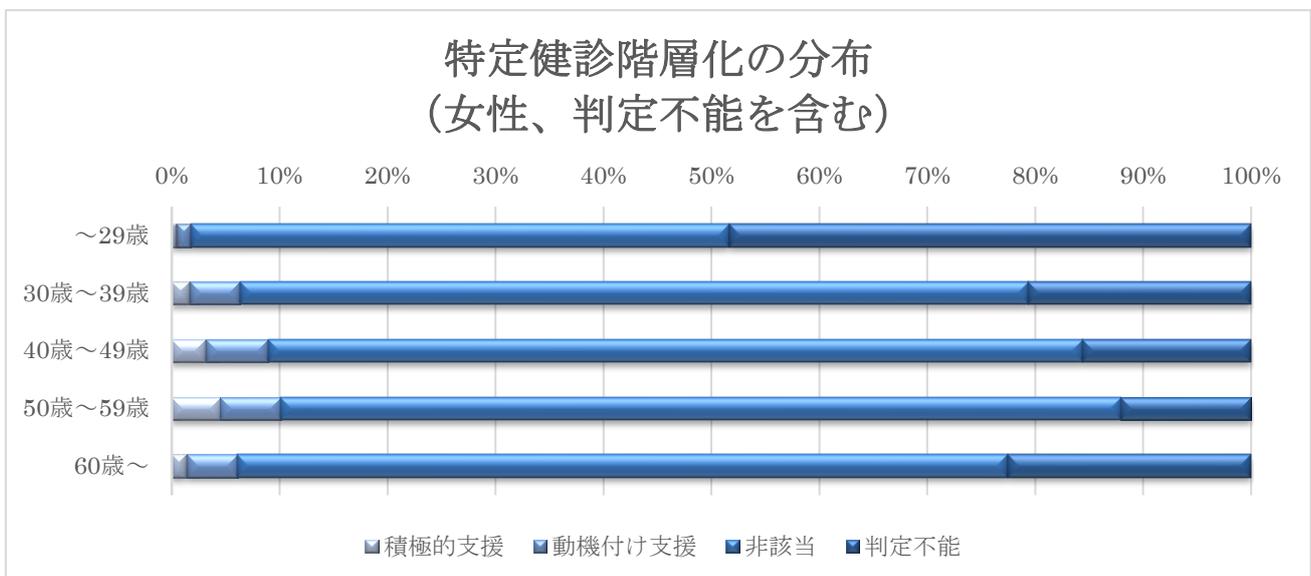
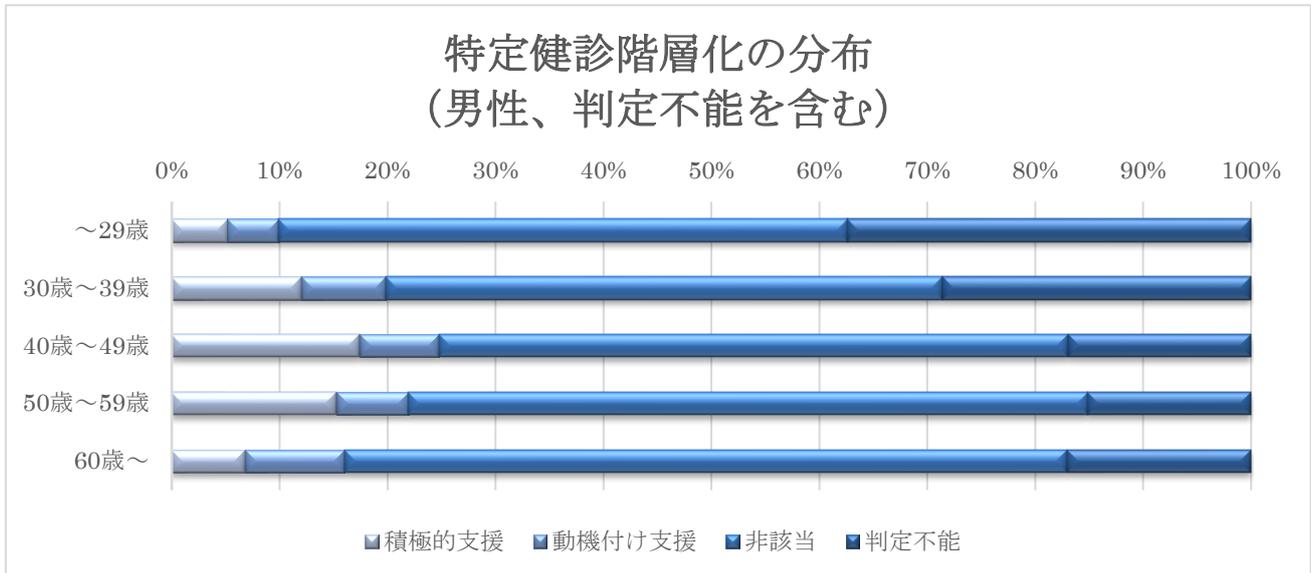


図 3 性別・特定健康診査階層化の分布

5. 人間ドック

人間ドック総合判定の分布グラフ | 性別・全年齢

人間ドックを受診された方の総合判定結果の分布である。

表 4 人間ドック性別・判定結果分布

(単位：件)

性別	判 定					
	所見なし	有所見健康	経過観察	要精密検査	治療中管理中	要専門医受診
男性	0～5	105	655	488	470	642
女性	0～5	51	270	163	151	196

注) 該当する人数が5人以下と著しく少ない場合は、個人特定を防ぐため0～5と表記した。

人間ドックの判定の分布では、一般健康診断と比較して、「要精密検査」もしくは「要専門医受診」が多くなっていた。原因には、一般健康診断よりも検査項目が多いことが考えられるほか、一般健康診断よりも人間ドックを受けられた方の年齢層が高いことが考えられる。

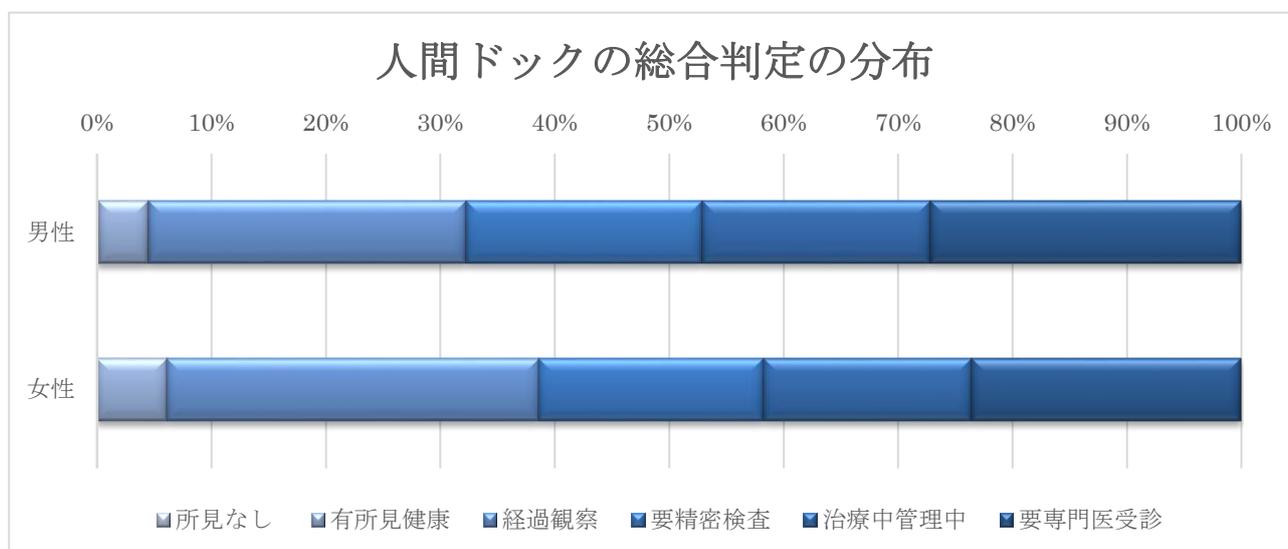


図 4 人間ドック性別・判定結果分布

6. その他の一次健(検)診

その他の一次健(検)診における検査判定の分布 | 性別・全年齢

一般健診、人間ドック、単項目検診、がん検診など、健診種別は異なるが、当センターで一次健(検)診を受けられた方の結果の分布である。

表5 性別・検査別判定結果分布

(単位：件)

男 性						
検査項目	判 定					
	所見なし	有所見健康	経過観察	要精密検査	治療中管理中	要専門医受診
上部消化管造影検査	8,742	2,547	513	1,614	0~5	0~5
上部消化管内視鏡検査*	232	1,188	945	/	0~5	107
腹部超音波検査**	1,406	1,359	3,849	/	134	250
前立腺腫瘍マーカー***	5,287	/	/	/	/	170

(単位：件)

女 性						
検査項目	判 定					
	所見なし	有所見健康	経過観察	要精密検査	治療中管理中	要専門医受診
上部消化管造影検査	1,945	1,214	121	369	0~5	0~5
上部消化管内視鏡検査*	132	580	314	/	0~5	24
腹部超音波検査**	1,050	622	878	/	56	94
マンモグラフィー****	1,765	35	42	322	0~5	0~5
乳房超音波検査****	1,788	899	485	143	72	0~5
子宮・婦人科検査****	3,461	93	87	49	49	0~5

注) 該当する人数が5人以下と著しく少ない場合は、個人特定を防ぐため0~5と表記した。

*上部消化管内視鏡検査には、同時に生検による精密検査を行うので「要精密検査」の判定は存在しない。

**腹部超音波検査における判定は、「要精密検査」と「要専門医受診」を合わせて集計している。

***前立腺腫瘍マーカーは男性のみの検査である。

****マンモグラフィー、乳房超音波検査および子宮・婦人科検査の項目は女性のみの検査である。

その他の一次健(検)診における検査判定の分布グラフ | 性別・全年齢

一般健診、人間ドック、単項目検診、がん検診など、健診種別は異なるが、当センターで一次健(検)診を受けられた方の結果の分布である。

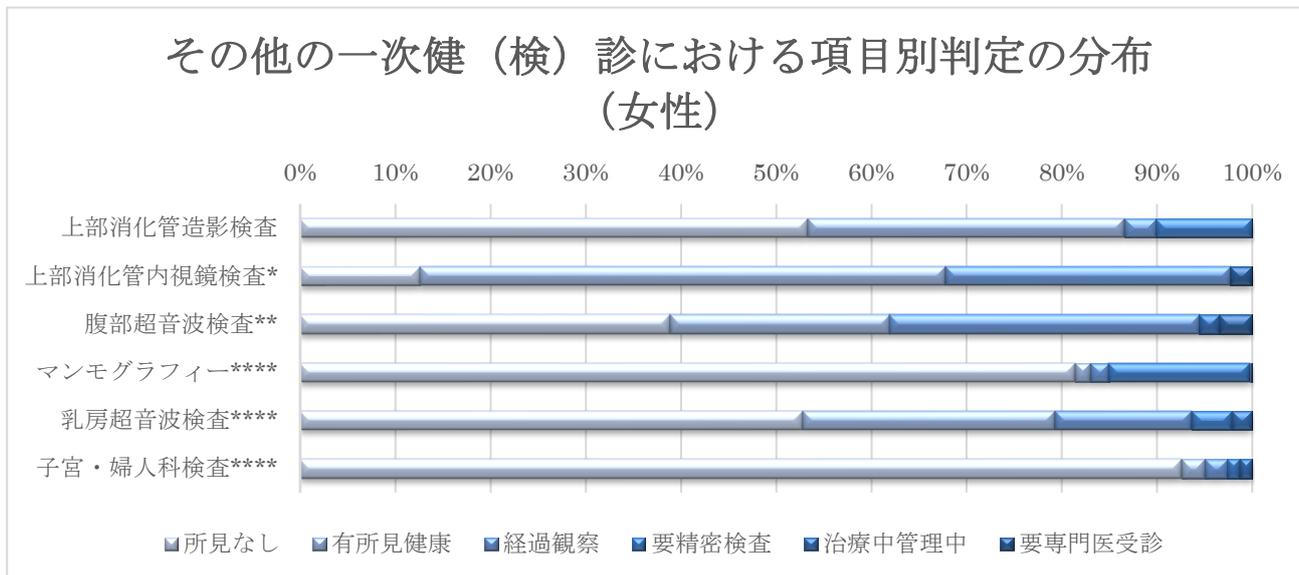
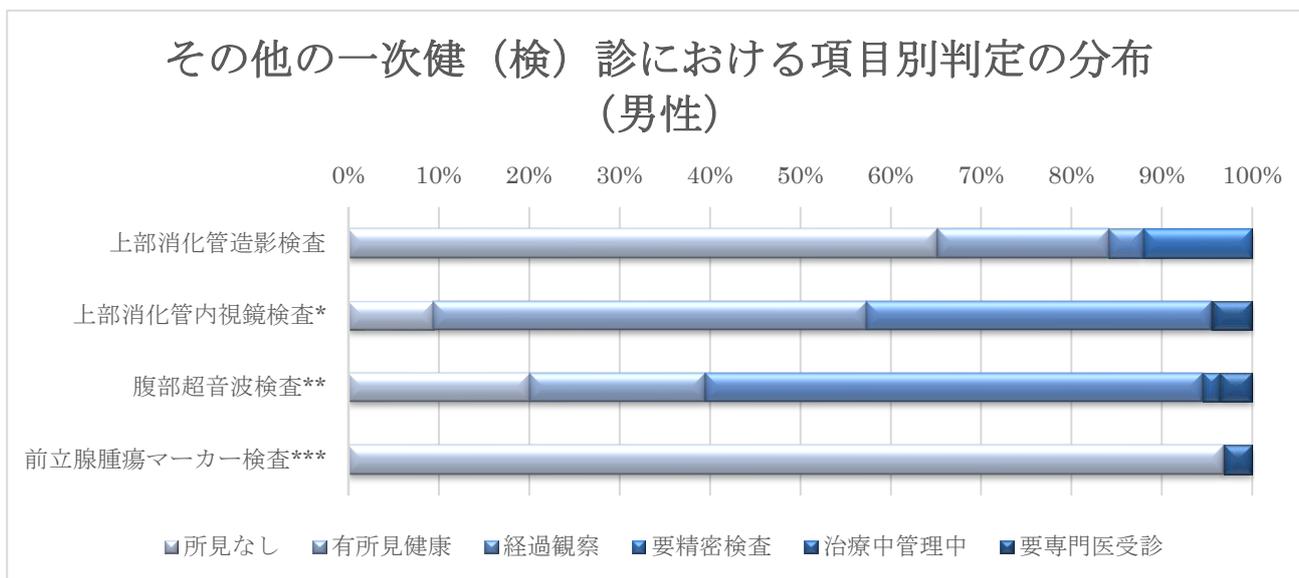


図5 性別・検査別判定結果分布

*上部消化管内視鏡検査には、同時に生検による精密検査を行うので「要精密検査」の判定は存在しない。

**腹部超音波検査における判定は、「要精密検査」と「要専門医受診」を合わせて集計している。

***前立腺腫瘍マーカーは男性のみの検査である。

****マンモグラフィ、乳房超音波検査および子宮・婦人科検査の項目は女性のみの検査である。

7. 二次健診

二次健診総合判定の分布 | 全体

二次健診を受けられ、当センターの判定基準を使われた方の性別と判定結果の分布である。

表 6-1 性別分布

	男性	女性	計
件数	468	187	655

表 6-2 判定分布 (男女計)

(単位：件)

判 定					
所見なし	有所見健康	経過観察	要精密検査	治療中管理中	要専門医受診
0~5	0~5	379	0~5	27	246

注) 該当する人数が5人以下と著しく少ない場合は、個人特定を防ぐため0~5と表記した。

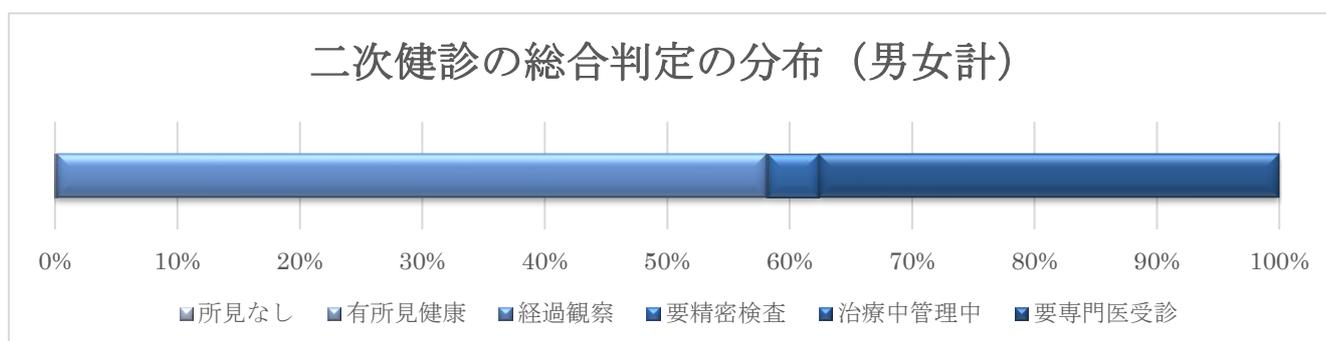


図 6 判定結果分布 (男女計)

二次健診の総合判定の分布では、経過観察が最多であった。要専門医受診が次に多かった。

8. 学校健診

学校健診総合判定の分布グラフ | 学校種別・性別

学校健診のうち、眼科検診などを含む総合的な健診について、集計した結果である。

専門学校・短期大学・大学

表 7 性別・判定結果分布

(単位：件)

性別	判 定					
	所見なし	有所見健康	経過観察	要精密検査	治療中管理中	要専門医受診
男性	1,506	311	215	52	13	0~5
女性	2,056	380	320	79	28	0~5

注) 該当する人数が5人以下と著しく少ない場合は、個人特定を防ぐため0~5と表記した。

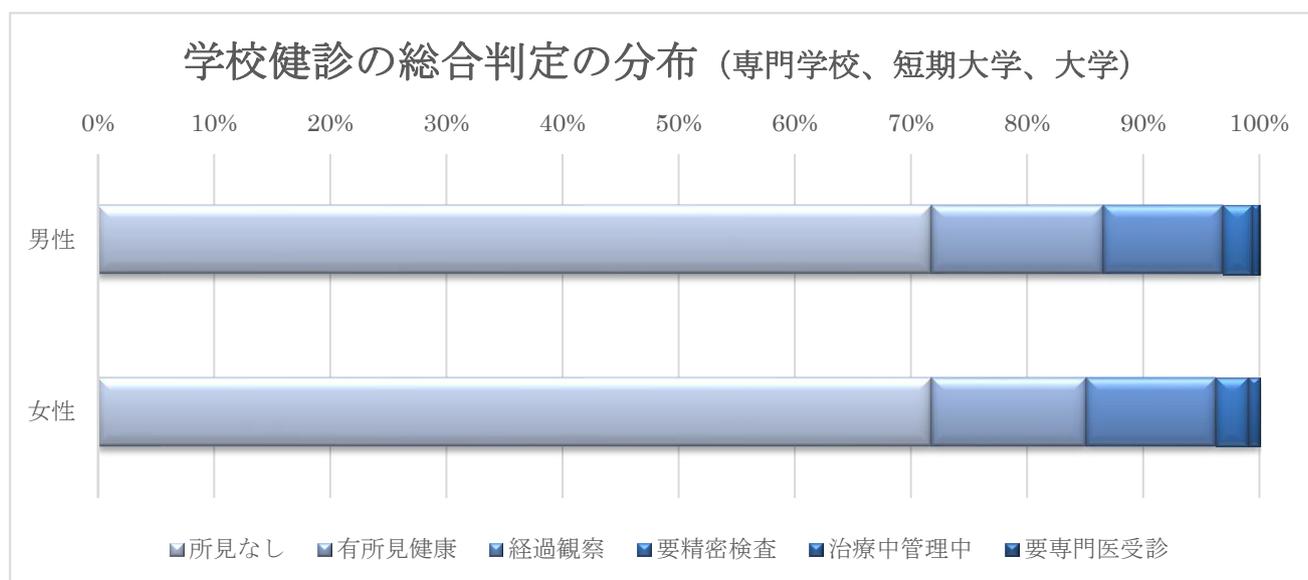


図 7 性別・判定結果分布

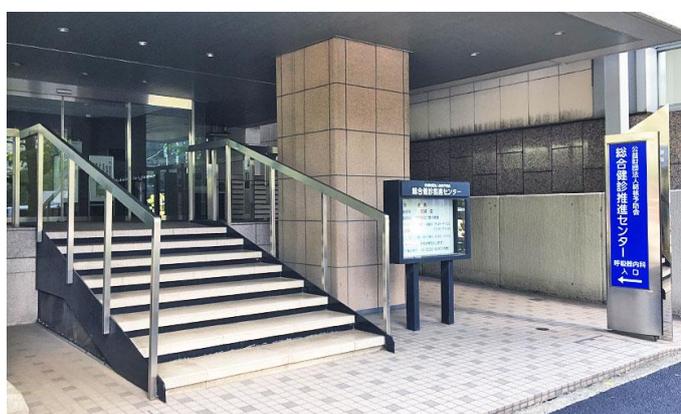
III. センター概要

1. 組織概要

施設名称	公益財団法人結核予防会 総合健診推進センター
所在地	〒101-8372 東京都千代田区神田三崎町 1-3-12 水道橋ビル 2F・3F・4F 電話 03-3292-9215 (代表)
開設	1940年 (昭和15年)
所長	宮崎 滋
名誉所長	杉田 博宣

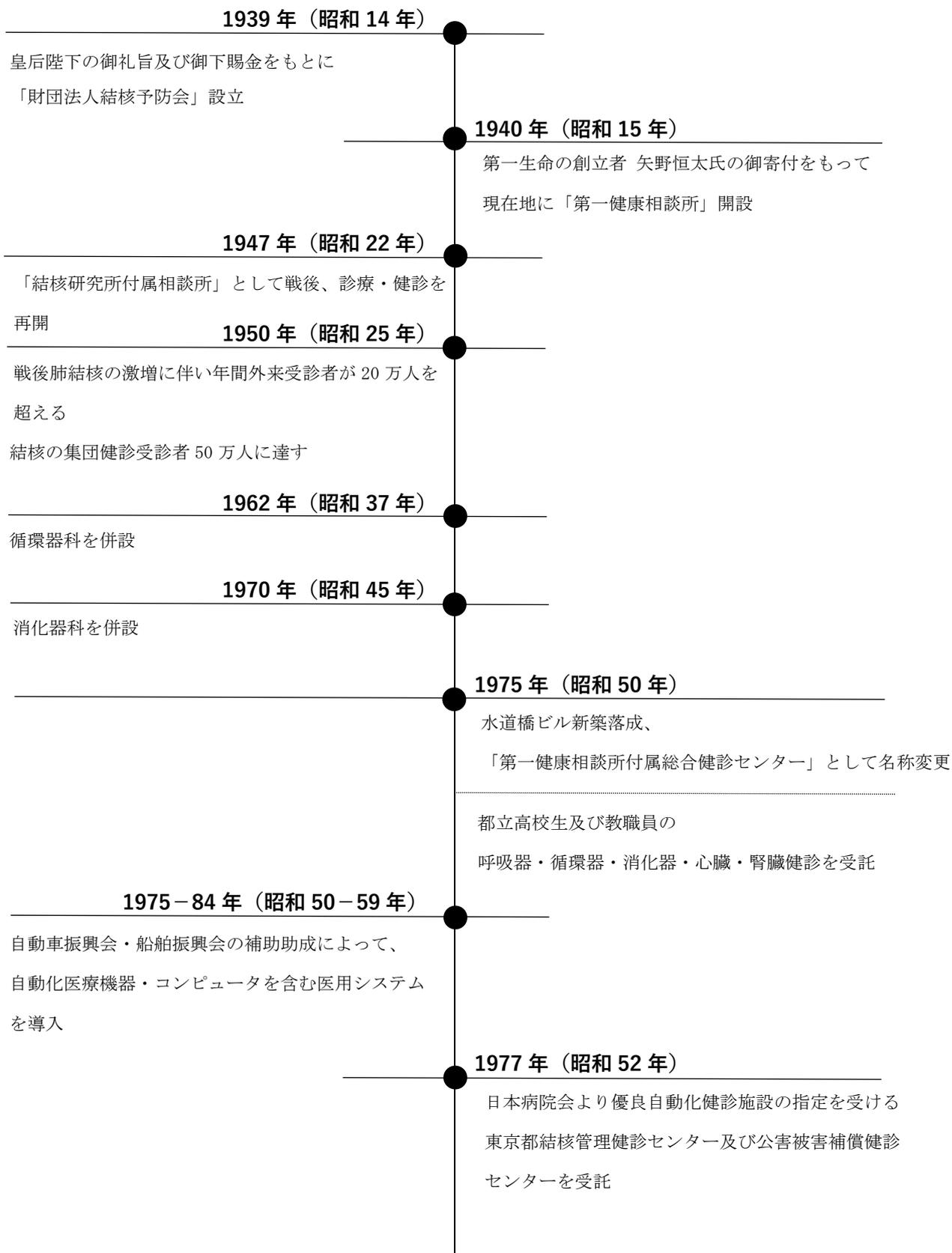


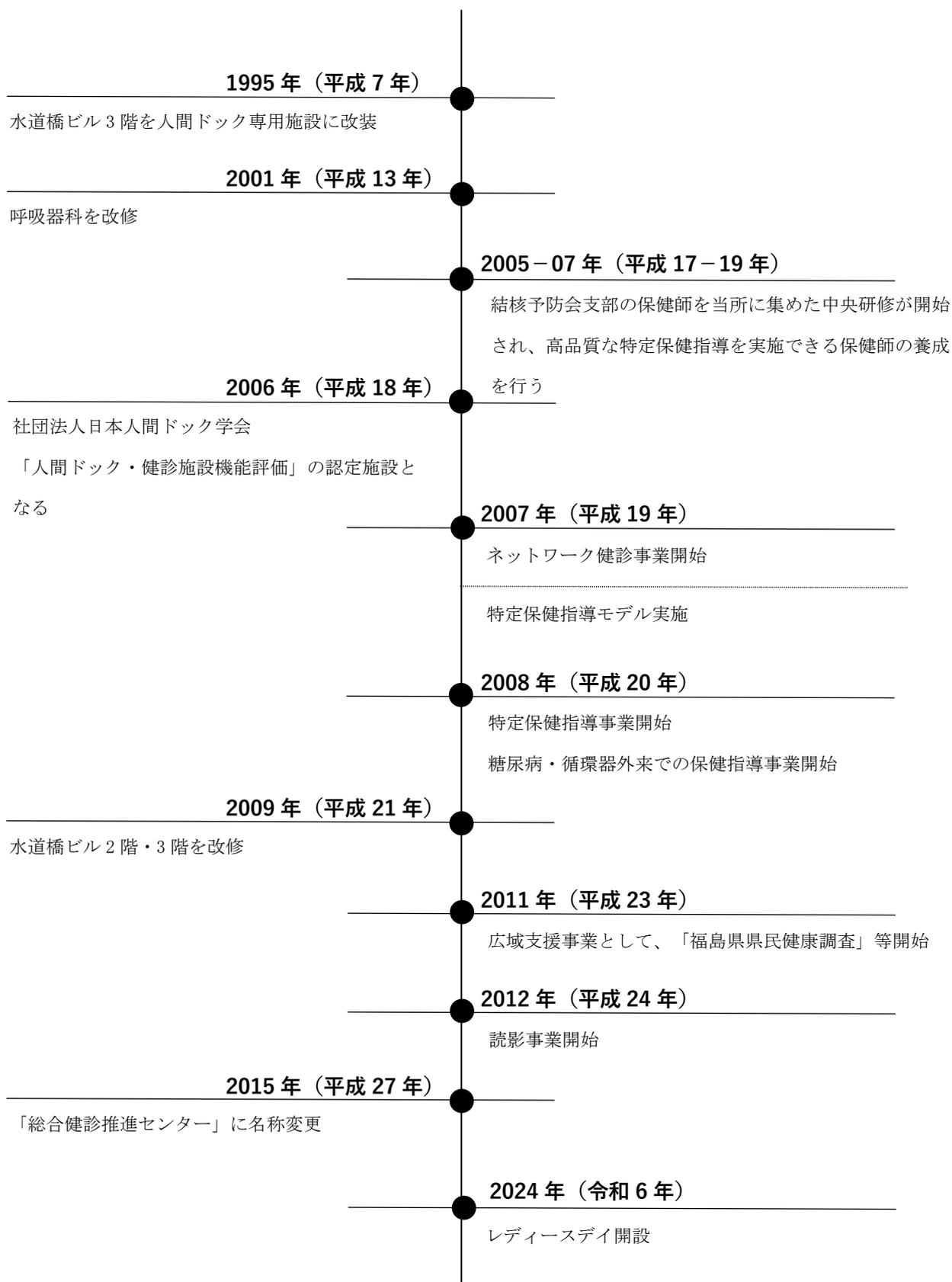
人間ドック・生活習慣病健診 入口



呼吸器科 入口

2. 沿革





3. 組織図

* 2024 (令和 6 年) 3 月 31 日時点



4. 職員構成

部署別職員構成

* 2024(令和6)年3月31日時点

区分		人数
所長		1
副所長		3
事務部	部長	1
	総務課	3
	経理課	3
	医事課	6
統括事業部	部長	1
	ネットワーク事業課	3
	情報システム管理課	4
	データ管理課	25
	広域支援課	5
	出張健診課	20
	施設健診課	35
	読影事業課	4
	健康支援課	9
国際健診部	部長(事務部長兼任)	1
	国際健診課	1
診療部	部長	1
	診療科(診療部長兼任)	1
	臨床検査科	24
	放射線科	9
	保健看護科	17

資格認定

■ 国家資格

区分	資格名称
医療	医師
	看護師
	厚生労働省 第一種衛生管理者
	診療放射線技師
	保健師
	臨床検査技師
その他	経済産業省 IT パスポート
	経済産業省 初級システムアドミニストレータ
	経済産業省 情報セキュリティマネジメント
	甲種防火管理者

■ 民間資格

区分	資格名称
医師	社会医学系専門医協会 社会医学系専門医・指導医
	日本医師会認定産業医
	日本結核・非結核性抗酸菌症学会 結核・抗酸菌症 認定医・指導医
	日本循環器学会 循環器専門医
	日本小児科学会 小児科専門医
	日本総合健診医学会 日本人間ドック・予防医療学会 人間ドック健診専門医
	日本総合健診医学会 日本人間ドック・予防医療学会 人間ドック健診専門医・指導医
	日本糖尿病学会 糖尿病専門医・指導医
	日本内科学会 総合内科専門医
	日本内科学会 認定内科医
	日本人間ドック・予防医療学会認定医
	日本肥満学会 肥満症専門医・指導医
医療技術他	健康・体づくり事業財団 健康運動指導士
	東京都保健医療局 東京都肝炎コーディネーター
	東京都保健医療局 東京都肝炎医療コーディネーター
	東京都保健医療局 東京都肝疾患職域コーディネーター
	日本医療経営実践協会 医療経営士3級
	日本医療情報学会 医療情報技師

区分	資格名称
医療技術他	日本結核・非結核性抗酸菌症学会 登録 抗酸菌症エキスパート
	日本高血圧学会・日本循環器病予防学会・日本動脈硬化学会・日本心臓病学会 認定 循環器病予防療養指導士
	日本消化器がん検診学会 胃がん検診専門技師
	日本消化器がん検診精度管理評価機構 胃がんX線検診技術部門B資格
	日本消化器がん検診精度管理評価機構 胃がんX線検診読影部門B資格
	日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡技師
	日本診療放射線技師会 放射線管理士
	日本診療放射線技師会 放射線機器管理士
	日本超音波医学会 認定超音波検査士 1.健診領域
	日本超音波医学会 認定超音波検査士 1.消化器領域
	日本超音波医学会 認定超音波検査士 1.体表臓器領域 2.消化器領域 3.健診領域
	日本乳がん検診精度管理中央機構 デジタルマンモグラフィ品質管理
	日本乳がん検診精度管理中央機構 乳房超音波技術講習会 B評価
	日本乳がん検診精度管理中央機構 マンモグラフィ技術認定技師
	日本病院会 診療情報管理士
	日本不整脈心電学会 心電図検定1級
	日本不整脈心電学会 心電図検定2級
	日本不整脈心電学会 心電図検定3級
	日本臨床検査同学院 二級臨床病理技術士：臨床化学
	肺がんCT検診認定機構 肺がんCT検診認定技師

5. 学会・所外活動等

学会・講演・各種研修会

- ・宮崎 滋
2023年4月22日 第31回日本医学会総会 座長
人生100年時代のための肥満症治療最前線
- ・宮崎 滋
2023年7月1日 第21回東京CDEフォーラム
肥満に起因する糖尿病と併発症 ～減量の重要性～
- ・宮崎 滋
2023年9月30日 2023年立川市生活習慣病予防教室
メタボにならないカラダがよるこぶ生活習慣を知ろう
- ・宮崎 滋
2023年11月25日 第44回日本肥満学会・第41回日本肥満症治療学会学術集会 JASSO スポンサーシンポジウム 座長
内臓脂肪過剰蓄積への新たな予防医学的なアプローチ ―セルフメディケーションの活用と適正使用―
- ・宮崎 滋
2023年11月26日 第44回日本肥満学会・第41回日本肥満症治療学会学術集会市民公開講座
あなたはいい肥満？悪い肥満？肥満症の予防・改善・治療で100年人生を！
- ・宮崎 滋
2023年12月1日 東京医療保健大学講義
肥満・メタボリックシンドロームと栄養
- ・宮崎 滋
2023年12月15日 日本肥満症予防協会・肥満症特別勉強会
肥満・肥満症と腸内細菌
- ・宮崎 滋
2024年1月24日 全国生活習慣病予防月間2024市民公開講演会 座長
- ・宮崎 滋
2024年3月8日 板橋区・健康やる気交流会
メタボにならないカラダがよるこぶ生活習慣を知ろう
- ・宮崎 滋
2024年3月16日 練馬区区民公開講座
肥満症の予防と対策・肥満と肥満症の違いについて正しく理解しよう

- 田川 斉之
2023年6月11日 第98回日本結核・非結核性抗酸菌症学会学術講演会
2020年の結核減少の背景について
- 田川 斉之
2023年6月22日/2023年11月16日 結核研究所
医師・対策コース 結核の画像診断
- 田川 斉之
2023年10月18日/2023年10月19日 結核予防会本部
カンボジアプロジェクト支援（医師スタッフへの胸部XP読影研修） 胸部XPの読影について
- 田川 斉之
2023年11月20日 文京区医師会 胸部XP読影研修会
結核の画像診断について
- 田川 斉之
2023年11月28日 第31回結核予防及び胸部疾病日中友好交流会議
Effect of COVID-19 measures to TB in Japan
- 田川 斉之
2024年2月22日/2024年2月29日 入間看護専門学校 看護科講義
呼吸器疾患について
- 中西 好子
2023年10月27日 葛飾区結核DOTS講演会
「地域で支える高齢者の結核～早期発見・早期治療～」結核の基礎知識と高齢者の結核
- 高木 祐弥
2023年7月15日 肺がんCT検診認定技師 第27回認定試験
試験ガイダンス
- 高木 祐弥
2023年12月2日 肺がんCT検診認定技師 第28回認定試験
試験ガイダンス

実行委員等

- ・宮崎 滋
日本生活習慣病予防協会 理事長
- ・宮崎 滋
日本肥満症予防協会 副理事長
- ・宮崎 滋
スローカロリー研究会 理事長
- ・宮崎 滋
タニタ コア技術研究所 名誉所長
- ・宮崎 滋
日本健康・栄養食品協会 認定審査会 委員長
- ・宮崎 滋
日本肥満学会 名誉会員
- ・宮崎 滋
日本糖尿病学会 功労評議員
- ・中西 好子
東京都南多摩保健所感染症の診査に関する協議会 委員
- ・中西 好子
新興・再興感染症および予防接種政策推進研究事業 中間・事後評価委員会 委員
- ・中西 好子
難病情報センター運営委員会 委員
- ・中西 好子
難病相談・支援センター間のネットワーク支援事業企画運営部会 副部会長
- ・中西 好子
公益財団法人東京都医学総合研究所人対象研究倫理審査委員会 委員
- ・中西 好子
東日本地区入国者収容所等視察委員会 委員
- ・中西 好子
東京都健康安全研究センター倫理審査委員会及び利益相反管理委員会 委員
- ・中西 好子
東京都健康安全研究センター研究評価会議 委員長

- ・中西 好子
台東区がん検診精度管理委員会 副委員長
- ・高木 祐弥
特定非営利活動法人肺がん CT 検診認定機構 認定技師認定東日本実行委員

論文・著書

- ・宮崎 滋
映画を観て病気を知る
複十字・結核予防会 2023 年 412 号 p.17
- ・宮崎 滋
やせるための正しい科学知識 減量の科学 (監修)
ニュートンプレス 2023 年第 14 巻 5 号 pp. 12-41
- ・宮崎 滋
超絵解本 人はなぜ太るのか・減量の科学 (監修)
ニュートンプレス 2023 年
- ・Wataru Ogawa, Yushi Hirota, Shigeru Miyazaki, Tadashi Nakamura, Yoshihiro Ogawa,
Iichiro Shimomura, Toshimasa Yamauchi and Koutaro Yokote
Definition, criteria, and core concepts of guidelines for the management of obesity
disease in Japan
Endocrine Journal, Vol. 71(3):223-231
- ・田川 齊之
2020 年の結核登録者数減少の背景
結核 2023 年 98 巻 7 号 pp. 263-267
- ・村上邦仁子, 源真希, 渡部ゆう, 播磨あかね, 長谷川乃映瑠, 安中めぐみ, 平尾晋, 杉下由行,
田川齊之, 渡部裕之
遺伝子解析が一致した高齢者施設における 結核集団感染事例
結核 2023 年 98 巻 3 号 pp. 99-105

6. 機器整備状況

巡回健診車両撮影装置

撮影区分	台数
胃部・胸部	3
胸部	4

センター内撮影装置

撮影区分	台数
胸部	2
胃部	3
マンモグラフィ	1
CT	1
骨密度	1

センター内検査機器

機器名	台数
VDT 視力計	8
屈折計	1
近点計	3
細隙灯顕微鏡	1
眼圧計	1
非接触眼圧計	2
眼底カメラ	4
視力計	7
自動視力計	4
聴力計	9
聴力計（骨導）	1
血圧計	23
心電計	12
心音心電計	3
心電図モニター	1
心細動除去装置	1
超音波診断装置	9
スパイロメーター	3
パルスオキシメーター	2
エルゴメーター	1
生化学自動分析装置	1
全自動免疫測定装置	1
血液検査装置	1
全自動グリコヘモグロビン分析計	1
全自動赤血球沈降速度測定装置	1
便潜血自動分析装置	1
全自動尿分析装置	1
全自動尿中有形成分分析装置	1
光学顕微鏡	2

機器名	台数
内視鏡システム	2
内視鏡（経口用）	2
内視鏡（経鼻用）	8
内視鏡（大腸用）	2
内視鏡洗浄機	2
超音波洗浄機	1
高圧滅菌装置	1

事業年報 2023(令和5)年度

2024(令和6)年11月発行

発行人 宮崎 滋

編集/データ整理 統計解析チーム・情報システム管理課

発行所 公益財団法人結核予防会 総合健診推進センター

〒101-8372 東京都千代田区神田三崎町 1-3-12

水道橋ビル 2F・3F・4F

TEL : 03 - 3292 - 9215 (代表)

URL : <https://www.ichiken.org>
